

ふれあいの森研修センターで楽しい講座を開催

2/6 甘酒・塩麴作り

講師の宇野功一さん(三里木)の指導のもと、7人の参加者が甘酒と麴の歴史、隠れた効用などの講話を受け、作り方の基本を学びました。講座生は「甘酒作りはまるで化学反応を見ているようです。子どもたちにも教えたかったです」と話しました。



もち米と米麴を混ぜる参加者

2/3 子ども硬筆

寿藤草雪さんの指導のもと、13人の児童が手本を見ながら1字1字に集中して鉛筆を走らせています。児童は「先生からほめられると、もっとじょうずに書きたいと思います」と意欲的な姿を見せました。



1字1字に集中する児童

1/21 茶道(表千家)

年間10回実施される講座で、5人の講座生が塚田澄江さん(緑ヶ丘)指導のもと、お茶のたて方などをとおして、おもてなしの心を学んでいます。講座生は「抹茶が好きなので講座が楽しいです」と和やかな表情で話しました。



静かな空間でお茶をたてる講座生

1/21 ~女と男で築く いきいき菊陽~  
よかつれフェスタ2023開催しました

「よかつれフェスタ2023」を、図書館ホールで3年ぶりに開催しました。

男女共同参画社会の推進のために開催した「川柳&フォトコンテスト」の表彰式を行い、川柳の部でグランプリ賞を受賞した、小学4年生の杉山祐平さんは「男だから頑張りなさい。とか、女だから女らしくなさい。とか言われるのが嫌だから川柳にした」と話しました。

また、明治以降の日本における女子教育や女性の地位向上に取組み、現在の男女共同参画の礎を築いた益城町出身の「四賢婦人」(矢嶋家の姉妹)にまつわる、劇団「鶴の子」の朗読劇と、著述家の齊藤輝代さんによる講演会を行いました。来場者からは「熊本のすばらしい女性のことを知り感銘を受けた」「益城町の『四賢婦人記念館』に行ってもっと知りたい」などの感想が寄せられました。



「矢嶋家の人々が願った社会 そして今」と題した講演をした齊藤さん



劇団「鶴の子」が四賢婦人の朗読劇を行った



川柳の部で表彰を受ける杉山さん



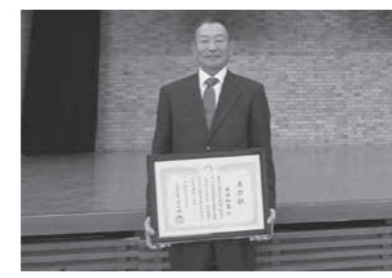
写真の部で表彰を受ける  
本山亜紀さんとその子どもたち

町民の皆さんが表彰されました

1/30 熊本県農林水産業功労者表彰式

熊本県農林水産業功労者表彰式が、県庁で行われました。表彰されたのは、町で50年以上にわたり農業に従事し、にんじんを栽培している本田和寛さん(下堀川)。平成13年に法人化し、高品質のにんじんが好評で県外にもにんじんを出荷しています。平成30年から3年間は農業委員会会長を務め、優良農地や担い手の確保に尽力しました。

本田さんは「今後も町の変化に合わせた次世代まで農業ができる環境の整備に尽力したい」と話しました。



表彰状を手に笑顔を見せる本田さん

1/25 熊本県読書活動推進功労者表彰

中村トシエさん(下原)が、令和4年度熊本県読書活動推進功労者として表彰されました。

中村さんは、図書館ボランティア「おはなしの森さん」に所属。図書館のほか、小中学校などで、長きにわたり子ども達に絵本とおはなしの楽しさを伝え、また新しい世代にそれを引き継いでいく活動を行ってこられました。地域や子どもの読書活動の推進に大いに貢献したことが評価され、今回表彰されました。



おはなしの森の皆さんと中村さん(前列中央)

1/31 熊本県農業コンクール大会表彰式

令和4年度(第63回)熊本県農業コンクール大会の表彰式が、熊本テルサで開催されました。

本大会には、菊池地方(新人王部門)代表で菊陽町の繁殖牛農家の赤塚祥太(馬場)さんと妻の姫香さんが推薦され、優良賞を受賞しました。

自給飼料の生産に力を入れ、母牛の粗飼料の全量を賄うほか余剰分を地域の農家に販売、また、スマート農業機器も積極的に導入され、先進的農業を展開されています。「これからも良い牛を育て、規模拡大していきたい」と目標を語られました。

また、菊池えごま生産組合(上村幸男組合長)が地域貢献賞を受賞されています。



優良賞を受賞した  
赤塚祥太さん、姫香さん



菊池えごま生産組合の  
上村幸男組合長

2/21 ねんりんピックかながわ2022 サッカーで優勝

優勝したランザ熊本シニアサッカークラブに所属する宮川浩敏さん(柳水)が表敬訪問に訪れました。

宮川さんは、「初めて大会に出場し、他県との試合を経験したことで自分を試すきっかけになりました。今後、力の続く限りシニアサッカーでプレーできるように頑張りたいと思います」と抱負を語りました。



メダルを手に微笑む宮川さん